

【資料6】

# 中山間地域等直接支払いの取組

## 埼玉県秩父市沢戸集落

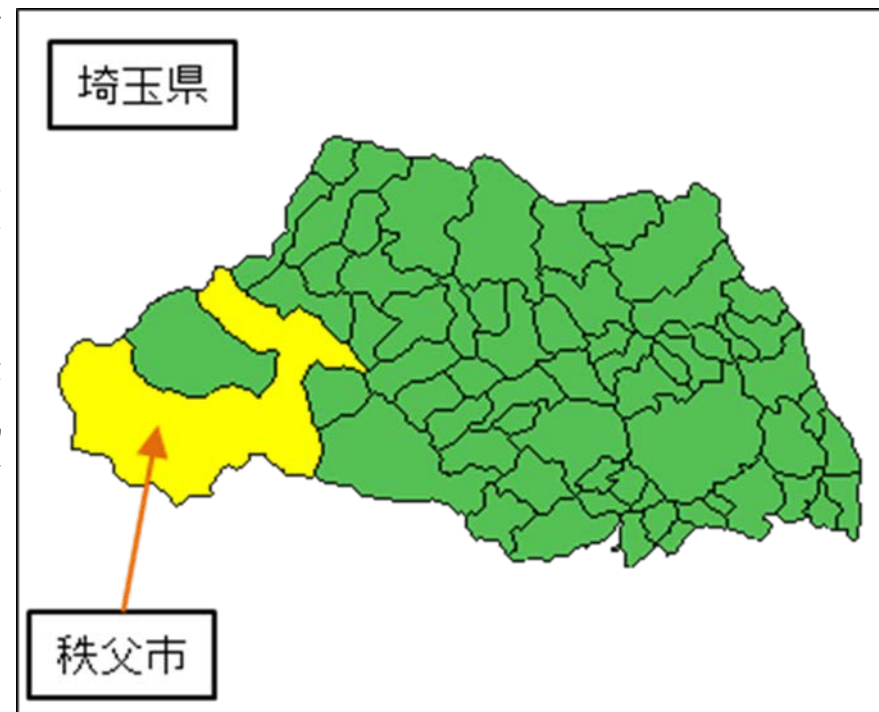
---

埼玉県農林部

農業ビジネス支援課

# 1. 団体の概要

- 沢戸(さわど)中山間地組合は、平成12年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、集落ぐるみで農地を維持管理するため結成された組織です。
- 当組合のある沢戸集落は、埼玉県秩父市の北部に位置する険しい山肌に拓けた山間集落です。ほとんど平地がない厳しい地形のため、石垣により人工的な平地を作り出す「石工・石積み」といった伝統的な技術が集落の基盤を支えています。
- 急斜面に作り出された畑を有効活用して栽培される、果樹（ゆず・かぼす等）や野菜（インゲン等）は、地域の気候に合った作目で、地域資源として活用することで地域活性化を進めています。



# 1. 団体の概要



YOUTUBEから  
「秩父市吉田石間の天空の郷 空撮 16年11月」



集落の基盤となる石垣





# 1. 団体の概要



## 2. 令和元年度の状況

- 協定面積：約7ha
- 協定構成員：農業者34人
- 協定開始：平成12年度
- 役割分担：代表1名、副代表2名、書記・会計1名、法面点検担当1名
  
- 果樹・野菜の栽培21名、草刈り等の維持管理13名、  
景観作物の植栽13名（重複あり）

### 3. 活動のきっかけ

- 沢戸集落は20度以上の超急傾斜地に位置し、耕作条件が厳しく高齢化も進行する中、農地や周辺林地を個人で管理することは困難な状況でした。
- 「個人ではできなくても皆で力を合わせればできるのではないか」「集落で何とかできないか」といった意見が顔を合わす度に出されていました。
- そこで、中山間地域等直接支払制度を活用して集落ぐるみの活動体制を作り、共同で集落環境の維持保全が行えるよう動き出しました。

# 4. 取組の具体的内容及び成果

## ①急傾斜地での共同管理作業の実施

- 20度以上の急傾斜地の畑での管理作業は高齢者が個人で行うことが難しいため、共同で草刈りや法面管理等を実施し、負担軽減を図っています。
- 共同作業を通して、集落を地域財産として守り発展させていこうとする意識が高まり、伝統技術である石垣の補修や道路沿いに景観作物を植え付けるなど、環境整備も実施しています。



## 4. 取組の具体的な内容及び成果





# ①急傾斜地での共同管理作業の実施



傾斜地20度の沢戸集落



共同取組活動として草刈りの実施

# 4 取組の具体的内容及び成果

## ②地域の農産物のPR活動

- 平成28年度からは、農産物のよさを伝えるため、地域の「吉田よいところ祭り」や埼玉県主催の「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」において、地域で収穫されるカボス等の農産物のPRを実施しています。
- また、沢戸により多くの人に訪れていただけるよう、パネルを展示し沢戸集落の美しい景観についても紹介しています。

## ②地域の農産物のPR活動



市町村での販売



ドリームフェスタでのPR



# 4 取組の具体的内容及び成果

## ③天空だんべえ石間協議会の設立

- 当初、沢戸集落のみで取組んでいましたが、もっと多くの人に参加してもらえれば、より広い地域が活性化すると考え、平成27年度に沢戸集落が属する吉田石間地区全体で「天空だんべえ石間協議会」を組織しました。
- 協議会では、山村の暮らし体験イベント開催やハイキングのガイド活動など、農地・資源を活用した都市農山村交流に取組み、農村文化の継承と地域活性化に力を入れています。
- 周辺集落と連携することで活動内容が幅広くなっています。
- <https://isama-net.com/> (天空だんべえ石間協議会ホームページ)


いさま

### ③ 天空だんべえ石間協議会の設立



# 天空だんべえ石間協議会



 天空だんべえ <sup>いさま</sup>石間

[見どころ](#)

[食べる](#)

[漆木神楽](#)

[フットパス・山歩き](#)

[更新情報・お知らせ](#)



# ふるさと支援隊との 共同活動



- 平成27年度から平成30年度（秩父市旧吉田町）まで  
十文字女子学園大学の食物栄養学科が現地で活動
- 収集した郷土料理の写真やレシピを紹介するカレンダー「ちちぶの自然と食」を制作
- 秩父市旧吉田町地域における地域住民との交流を通して、生活環境である食生活とその周辺を伺い、先人の食生活の知恵を学び、一方で次世代に郷土の食を伝承するための記録を残すことを活動目的としました。
- 石間地域の高齢者から、昭和40年頃までの食生活の様子を伺い、継承されている伝統行事（収穫祭）などに参加し、郷土食、行事食などのご指導を受け、それらを通して次世代へ伝承したい料理を取材する。これらの活動から、四季折々の地域の農産物と郷土料理を情報として広く提供することを活動を実施

# 5. 活動実績

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
共同作業の実施	回	3	4	5	4	4	6
	解説：非常に厳しい環境の中、農用地の維持管理だけでなく、集落生活の要となる石垣の修繕及び集落道・作業道の整備も実施。						
農産物のPR活動	回	1	1	3	3	3	5
	解説：地域の祭りなどで収穫物のPR販売などを実施。直売所への出荷も随時行っている。						
天空だんべえ石間協議会の活動	回	—	10	15	18	18	20
	解説：農村文化の継承と地域活性化に向けて各種イベントなどを開催。また、道沿いや石間川の草刈りなど集落環境維持の取組も実施。						

# 6. 活動の主な変遷

H12年度	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
中山間地域等 直接支払制度 取組開始	超急傾斜農地 保全管理加算 取組開始	天空だんべえ 石間協議会が 設立され構成 員となる	農村集落活性 化支援事業を 活用し、リー フレット作成	第4期対策中 間年評価、取 組の見直し	共同活動・ イベント等 随時実施	第4期対策 最終年、次 期対策への 移行準備・ PRの強化



# 7. 今後の展開方向 (第5期対策)





# 7. 今後の展開方向（第5期対策）



## 9. 集落から

- 平成30年度も沢戸集落を視察いただいた。
- 現地に来ていただくとわかるがかなり勾配はきついところ です。
- この傾斜地の農地を維持管理していくことはかなり大変です。
- 今はまだ集落のみんなでがんばっていけますが、あと10年後はどのように活動が続けられるか心配な部分があります。
- 集落としても今後どのように活動を発展していけばいいか日々思案しています。
- 生産性をあげる作物があるかまたほかに共同できる事業があるかなどのアドバイス等があればいただきたい。
- そして、新型コロナウイルス感染等が落ち着いたら、現地に来ていただきたい、とのこと。